

# 宮永岳彦記念美術館だより

2019 7 月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2  
TEL / FAX 0463-78-9100



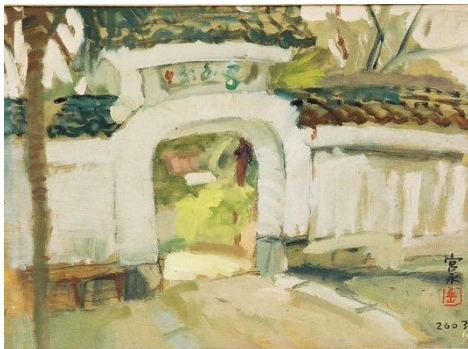
## 常設展示室

宮永岳彦

## 生誕百年展

2019年6月5日(水) ▶ 2020年2月24日(月・祝)

展示作品より今月の一点  
《 萬福寺 》



今回の「生誕百年展」では、宮永岳彦の画業初期の作品も展示しており、展示作品の中で制作年が最も古いのがこの《萬福寺》です。

この作品は1943(昭和18)年、宮永が24歳の時に画家・杉本健吉とのスケッチ旅行で制作したもので、京都府宇治市にある萬福寺の山門を力強く素早い筆さばきで描き出しています。

時代は太平洋戦争の真っただ中で、絵具材料の統制が始まり、著名な画家が陸軍省から中国に派遣されるなど軍国主義はいよいよ濃くなっていました。宮永はこの2年前に召集され、横須賀野戦重砲隊に入隊しましたが、肺の病気で入院し帰郷。療養中の体験を基に傷病軍人への慰問の様子を描いた《慰問》が二科展に初入選しました。スケッチ旅行からの帰宅後、宮永は二度目の召集令状を受け取り、25歳から約3年間の従軍を経験することになります。そういった背景を知ると、本作の力強いタッチは、戦時の緊迫感と若き宮永の絵画への情熱がせめぎ合って生まれたものだと分かります。

油彩・板 1943(昭和18)年 23.0×32.0cm

## 市民ギャラリーのご案内

入場無料

### 神奈川二紀委員・会員展

7月30日(火)～8月11日(日)

10:00～17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)

宮永岳彦が理事長を務めた二紀会の協力を得て、神奈川二紀会50回記念特別展として、作品展を開催。

### 2019.8月の市民ギャラリー展覧会の予定

写楽クラブ第10回写真展(仮)

8月27日(火)～9月1日(日)

※7月2日(火)より2020年1月分までの予約を受け付けています。

### 美術館 ワクワク探検 vol.25

かわいい

### チョコミントアイスを作ろう!

日時 8月12日(月・祝) 13:30～

場所 宮永岳彦記念美術館 市民ギャラリー

内容 粘土でアイスクリームを作ります。

対象 市内在住在学の小中学生20名

申込み 文化振興課(0463-86-6309)へ電話。

7月16日より受付開始、先着順

詳細は広報はだの7月15日号に掲載します。



### 宮永岳彦の思い出 ～写真とともに～

戦争から帰った宮永は実家のある秦野にアトリエを構え、トレードマークのベレー帽に大きなスケッチブックの入った赤皮の手提げカバンというモダンな立ちで、銀座の職場まで片道2時間かけて小田急線で通勤していました。

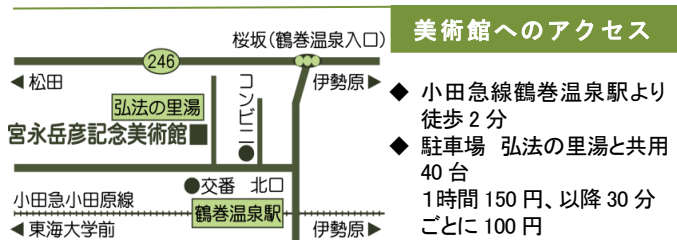
戦争中は夜、空襲のため雨戸を閉め切った中、薄暗い電球の下でしか絵を描けなかったため、戦



大秦野(現・秦野)駅にて  
1949(昭和24)年頃

後は、明るい蛍光灯の下で自由に絵を描ける時代になって本当に幸せだったと、後に語っています。

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)  
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料



7月の休館日 : 1日(月) 8日(月) 16日(火) 22日(月) 29日(月)